



2025年5月12日 スズキ株式会社

(ご参考) 表紙画像：中期経営計画発表の様子

当社は2025年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。
そのため、本ページ以降は前期・当期ともにIFRSに基づき作成しております。

2025年3月期決算

- ・売上収益 5兆8,252億円、営業利益6,429億円となり、ともに過去最高
- ・為替影響や販売台数の増加、台当たり収益の改善により増収増益

2026年3月期予想

- ・売上収益 6兆1,000億円、営業利益5,000億円を見込む
- ・為替円高等の影響で経営環境は厳しいが、中期経営計画の実現に向け成長投資を継続
- ・従業員の成長を促す人的資本投資やAI活用による業務効率化を推進し、個の力を向上
- ・収益基盤強化のための製品の価値を伝える活動や、研究開発・設備投資を積極的に行い、スズキ全体の稼ぐ力を向上させる

2025年3月期 決算のサマリーをご説明いたします。

当期は、為替影響や販売台数の増加、台当たり収益の改善により、売上収益は5兆8,252億円、営業利益は6,429億円と、ともに過去最高となりました。

次期予想につきましては、売上収益は6兆1,000億円、営業利益は5,000億円を見込みます。

為替円高等の影響により経営環境は厳しい状況ではありますが、今年2月に発表した中期経営計画の実現に向けて、成長投資を緩めるつもりはありません。
中期経営計画の最終年度2030年度に向けて、今よりももっと競争力を高めていくことが必要だと考えています。
従業員一人一人が自ら成長していける環境づくりのための人的資本投資を継続するとともに、AIを活用した業務効率化を徹底し、個の力を向上させていきます。
加えて、お客様に製品の価値を伝える活動等の収益基盤強化の取組みを継続するとともに、将来に向けた研究開発投資、設備投資を積極的に行うことで、スズキ全体の稼ぐ力の向上を図っていきます。

成長投資により企業価値向上に努めるとともに、累進配当を着実に実施し、株主の皆様へお応えしていく。当期年間配当41円、次期年間配当45円

- 2025年3月期
 - ・年間配当金 1株当たり **41円**（前期から10.5円増配(34.4%増）、DOE3.1%）
 - ・期末配当金 1株当たり **21円**（前期から4.25円増配）
- 2026年3月期予想
 - ・年間配当金 1株当たり **45円**（当期から4円増配(9.8%増)、DOE3.0%）
 - ・中期経営計画でお示した配当指標DOE3.0%水準に基づき累進配当を実施

※DOE＝1株当たり配当金÷（（期首1株当たり親会社所有者帰属持分＋期末1株当たり親会社所有者帰属持分）÷2）

なお、親会社所有者帰属持分から、その他の資本の構成要素は除く

※2026年3月期予想のDOEは弊社試算値

次に、株主還元についてご説明いたします。

当社は、成長投資を行い、業績を拡大していくことで、企業価値向上に取り組んで参ります。
併せて、安定的かつ継続的な累進配当を着実に実施し、当社を応援してくださる株主の皆様へお応えして参ります。

その方針を踏まえ、
当期年間配当は前期に対し10.5円増配となる、
1株当たり41円とさせていただきます。

次期配当予想は、
中期経営計画でお示した、
累進配当方針、および配当指標 DOE3.0%水準に基づき、
当期の配当から4円増配となる、1株当たり45円といたします。

私からの決算の総括は以上となります。
続いて、決算の詳細について、岡島より、説明させていただきます。

サマリー 2

株主還元 3

2025年3月期決算 5～15

 総括 5

 四半期ごとの業績 6

 営業利益増減要因 7

 事業別業績、営業利益増減要因 8

 四輪・二輪台数実績 9～15

通期業績予想 16～19

 総括 16

 営業利益増減要因 17

 四輪・二輪台数情報 18～19

キャピタル・アロケーション 20

補足資料 21～34

(億円)		当期 ('24/4-'25/3)	前期 ('23/4-'24/3)	増 減	増減率	補足
連結 業績	売上収益	58,252	53,575	+ 4,676	+ 8.7%	4期連続増収、過去最高
	営業利益 (利益率)	6,429 (11.0%)	4,938 (9.2%)	+ 1,490	+ 30.2%	3期連続増益、過去最高
	税引前利益 (利益率)	7,302 (12.5%)	5,917 (11.0%)	+ 1,385	+ 23.4%	5期連続増益、過去最高
	当期利益※ (利益率)	4,161 (7.1%)	3,170 (5.9%)	+ 990	+ 31.2%	5期連続増益、過去最高
世界 販売	四輪車	3,240千台	3,168千台	+ 72千台	+ 2.3%	日本、パキスタン、中近東等で増加
	二輪車	2,064千台	1,912千台	+ 152千台	+ 7.9%	インド、中南米等で増加
配当	1株当たり 年間配当金	41円	30.5円	+ 10.5円	+ 34.4%	5期連続増配※、過去最高 ※記念配当を含むと6期連続増配
ROE	ROE	14.6%	12.6%		+ 2.0%	

※ 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

はじめに、今回の決算の実績をご説明いたします。

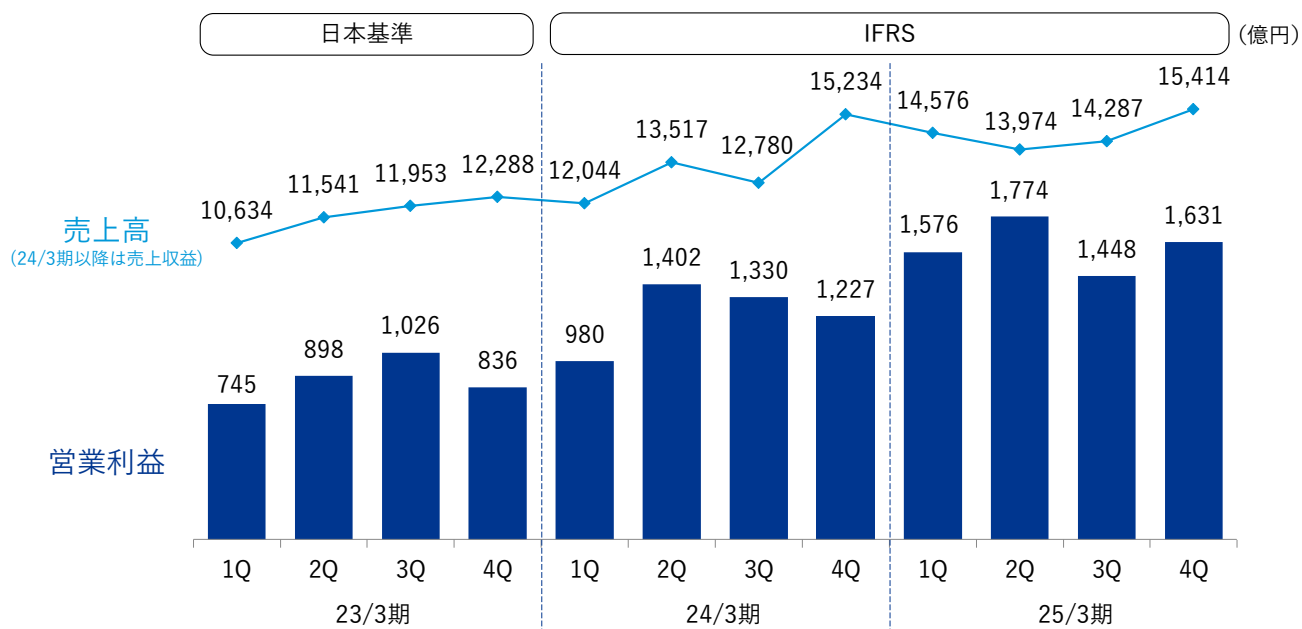
売上収益は販売台数が増加したこと等により
5兆8,252億円と、前期に比べ4,676億円増加しました。

営業利益は売上構成変化の改善や為替円安効果等により
6,429億円と、前期に比べ1,490億円増加しました。

税引前利益は7,302億円と、前期に比べ1,385億円増加、
当期利益は4,161億円と、前期に比べ990億円増加しました。

四輪車の販売は、日本、パキスタン、中近東等で増加し
世界販売合計では7万2千台増加しました。
二輪車の販売は、インド、中南米等で増加し
世界販売合計では15万2千台増加しました。

また、営業利益率11.0%、ROE14.6%と、
前期に比べ収益性が改善しました。
年間を通した稼ぐ力の向上の取組みの成果が出たと認識しています。



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

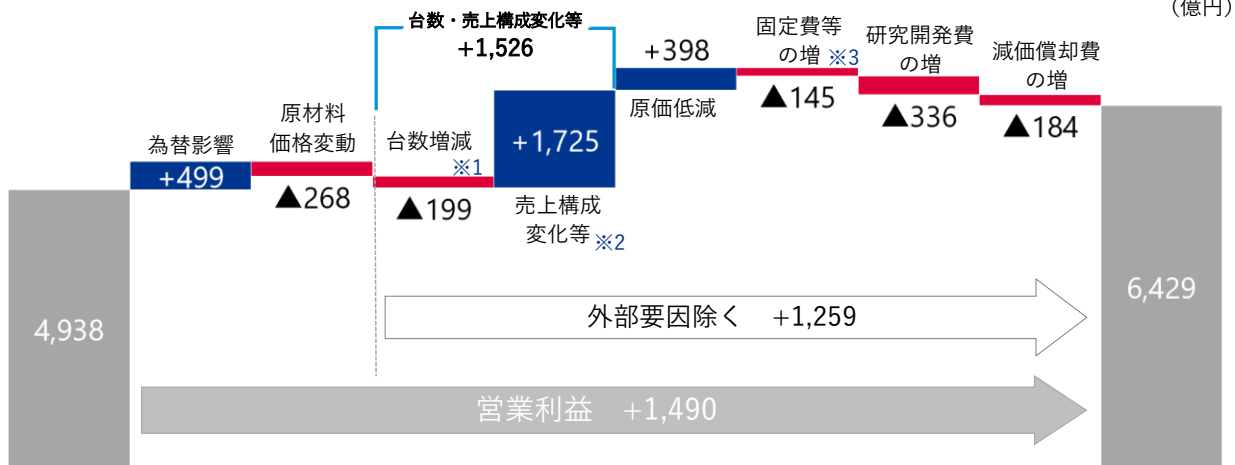
6 / 20

続いて、四半期毎の業績についてご説明します。

当1-3月期切り出しの実績は、
前年同期に対して増収増益、過去最高となりました。

当期は、全ての四半期において前年同期を上回り、
着実に業績の拡大を続けました。

(億円)

前期
'23/4-'24/3

※1 台数増減影響 主な内訳

- ・当社単独 ▲370億円
- ・マルチスズキ +214億円

※2 売上構成変化等 主な内訳

- ・当社単独 +615億円
- ・マルチスズキ ▲175億円
- ・未実現利益 +1,015億円

※3 固定費等の増 主な内訳

- ・労務費 ▲272億円
- ・営業政策費 ▲75億円
- ・品質関連費用 +193億円

当期
'24/4-'25/3

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

7 / 20

前期と比較した営業利益の増減要因は、ご覧の通りです。

外部要因としては、

- ・為替影響で499億円の増益、
- ・原材料価格変動については、
主に取引先基盤強化の取組の影響により268億円の減益
となりました。

外部要因を除く項目では、
増益要因として、

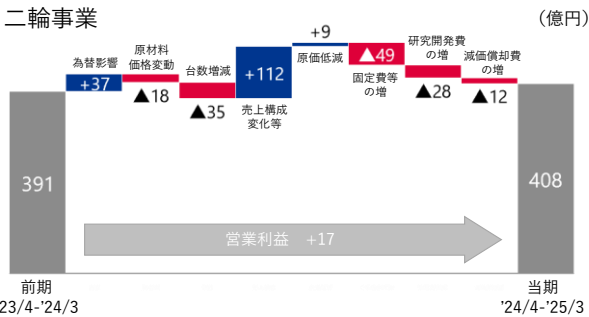
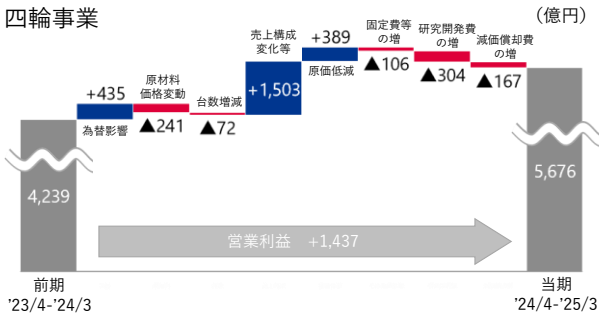
- ・売上構成変化等で1,725億円
 - ・原価低減により398億円
- の増益となりました。

売上構成変化等の主な内訳は、

- ・当社単独では、国内四輪車の価格改定等により、615億円の増益
- ・マルチスズキでは、販売費用の増加等により、175億円の減益
- ・また、当期の特殊要因として、
在庫変動を反映した連結決算処理上の未実現利益について
1,015億円の増益要因となりました。

(億円)

	'24/4-'25/3					'25/1-3				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
	前期比		前期比	利益率		前期比		前期比	利益率	
四輪	53,052	+9%	5,676	+34%	10.7%	14,049	+1%	1,441	+38%	10.3%
二輪	3,981	+9%	408	+4%	10.3%	1,029	+4%	97	▲13%	9.5%
マリン	1,097	▲2%	306	+11%	27.9%	302	+8%	83	+39%	27.5%
その他	121	+8%	38	+13%	31.5%	36	+29%	10	+23%	27.7%
連結計	58,252	+9%	6,429	+30%	11.0%	15,414	+1%	1,631	+33%	10.6%



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 8 / 20

次に事業別の業績についてご説明いたします。

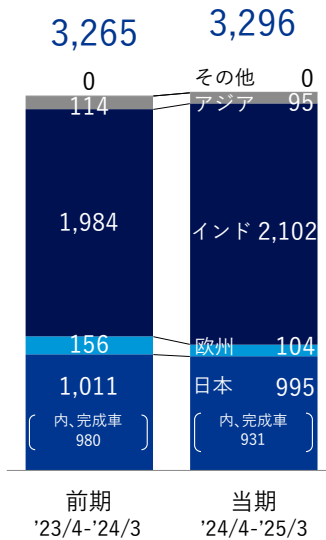
四輪事業につきましては
為替影響や売上構成変化等の改善等により、増収増益となりました。
このうち、未実現利益については832億円の増益影響がありました。

二輪事業につきましては
為替影響や売上構成変化等の改善等により、増収増益となりました。
主にインドでの販売拡大が増収増益に寄与しました。

マリン事業につきましては
売上収益は減少したものの、
営業利益は前期と比べて31億円増加しました。

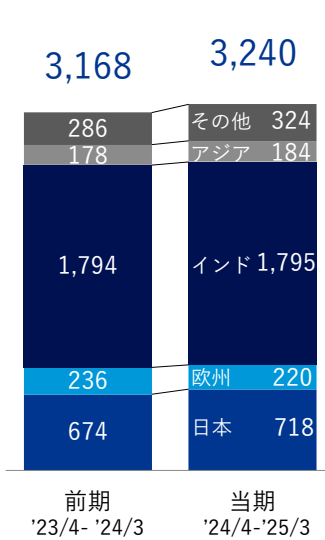
生産実績

+31 (+0.9%) (千台)



販売実績

+72 (+2.3%) (千台)



● 当期の世界販売

(千台)

	台数	前期比	
世界販売	3,240	+72	+2.3%
日本	718	+43	+6.4%
欧州	220	▲16	▲6.9%
インド	1,795	+2	+0.1%
アジア（除インド）	184	+6	+3.6%
パキスタン	69	+26	+60.1%
インドネシア	65	▲13	▲16.9%
フィリピン	21	+3	+16.6%
その他	324	+37	+13.1%
中南米	122	+12	+11.0%
アフリカ	109	+12	+12.0%
中近東	64	+12	+23.2%
大洋州	28	+2	+6.1%

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

9 / 20

次に、生産・販売の状況についてご説明いたします。

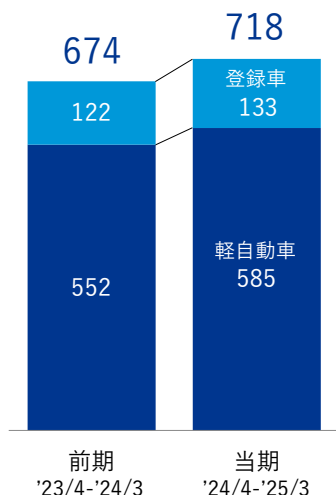
四輪車につきまして

日本、パキスタン、中近東等にて販売台数が増加し
生産・販売ともに前期を上回りました。

中近東・アフリカ・中南米では、
インドからの輸出モデルが台数を伸ばしました。
後ほど改めてご説明いたしますが、
インドからの年間輸出台数は
過去最高の30万台超えを達成いたしました。

販売実績

+43 (+6.4%) (千台)

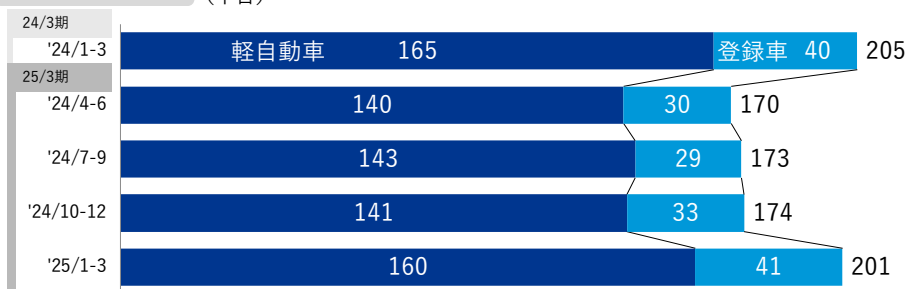


● 国内販売の状況

- ・ 2024年度の軽自動車販売台数 1位(シェア35.9%)
- ・ 2024年度の登録車販売台数は133千台(過去最高)
- ・ 軽自動車と登録車の合計販売台数はシェア2位



国内販売台数推移 (千台)



● 新型「ジムニー ノマド」発売

- ・ 4月3日より発売
- ・ 受注再開に向けて準備中



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

10 / 20

次に日本の四輪販売実績についてご説明いたします。

2024年度の軽自動車販売台数は、
おかげさまで2年連続1位を獲得することができました。
シェアは35.9%です。
登録車販売においても過去最高の13万3千台となりました。
主に、スぺーシアやソリオを中心に販売を拡大し、
軽自動車と登録車の合計販売台数では、シェア2位となりました。

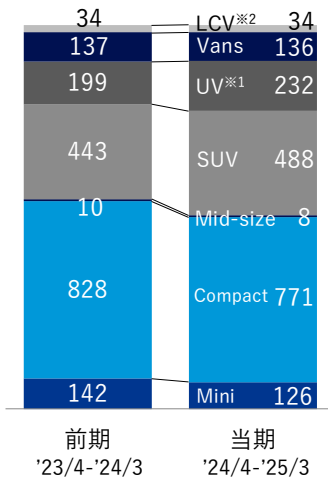
足元の競争環境は厳しさを増しつつありますが、
引き続きお客様のニーズをとらえた適切な商品投入と、
その価値をしっかりご理解いただくための営業活動に注力し、
継続的な収益改善を目指します。

4月3日には、ジムニーシリーズ初の5ドアモデルである
「ジムニー ノマド」を発売いたしました。
販売計画台数を大きく超えるご注文をいただき、
受付を一時的に停止させていただいております。
早期に受注を再開できるよう、
全社を挙げて取り組んで参りますので、
今しばらくお待ちいただけますよう、よろしくお願いいたします。

販売実績

+2 (+0.1%) (千台)

1,794 1,795



● 当期の販売実績

- ・ 2024年度の卸販売台数は1,795千台(前期比+0.1%)
- ・ 末端販売台数は前期比+3.7%。健全な在庫水準を維持。
- ・ 輸出台数は初の30万台超えとなり過去最高

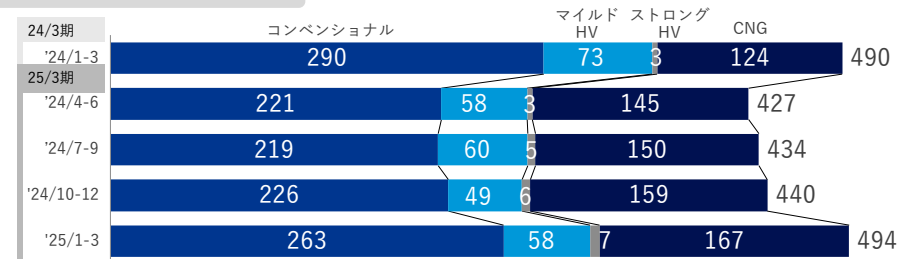
● 次期の販売見通し

- ・ 次期の卸販売見通しは、新型SUV 2モデルの投入等により、市場成長率(当期比+1~2%：弊社予想)を上回る見通し
- ・ 輸出台数は当期からさらに拡大(同+約20%)する見通し
- ・ カルコダ工場が稼働開始、人気SUVモデル「プレッツァ」を生産



2025年2月25日より生産開始したカルコダ工場

パワートレイン別卸販売台数 (千台)



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

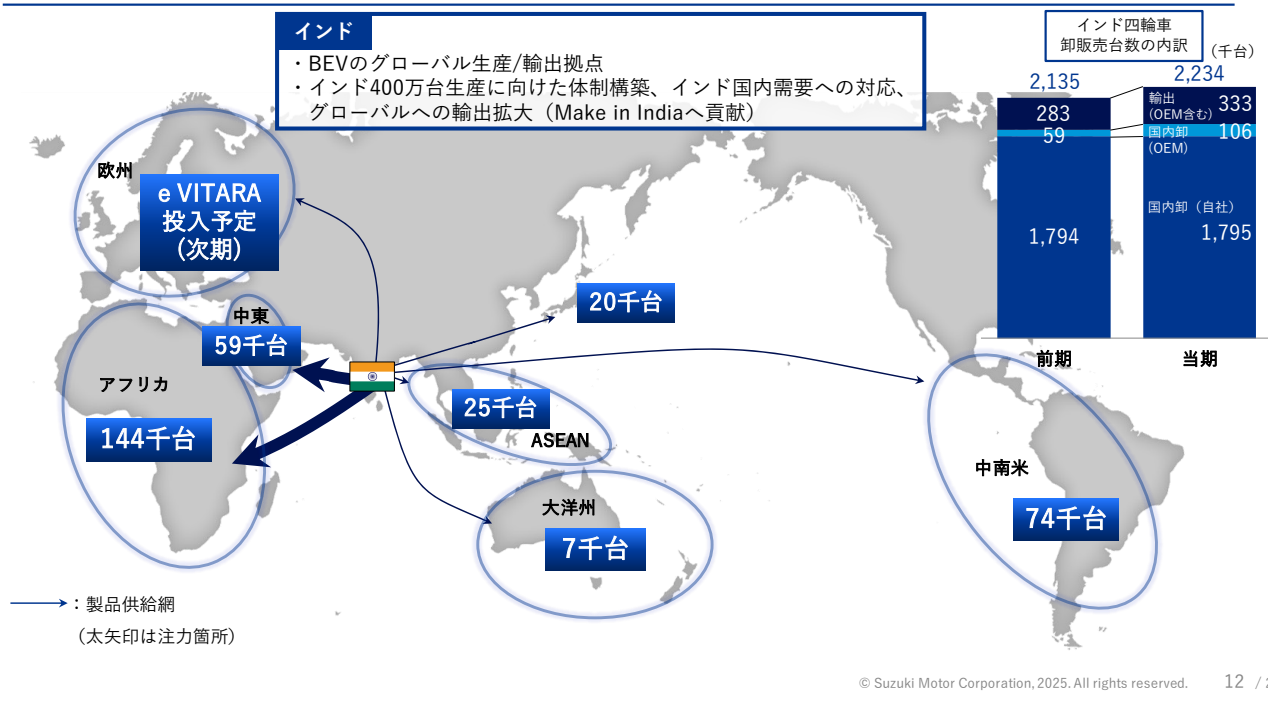
11 / 20

インドの四輪販売の状況です。

当期につきましては、
2024年度の卸販売台数は179万5千台と前期並みとなりました。
末端販売は前期比+3.7%の増加となり、在庫も健全な状況です。

次期の見通しにつきましては、
市場では引き続き、SUVが好調なものの小型車の需要低迷が続いており、
卸販売の全体市場の見通しは+1~2%の伸びと、
慎重に見ております。
そのなか弊社は、EV「e VITARA」を含む
新型SUV 2モデルの投入等により、
市場の伸びを上回る販売を計画しています。

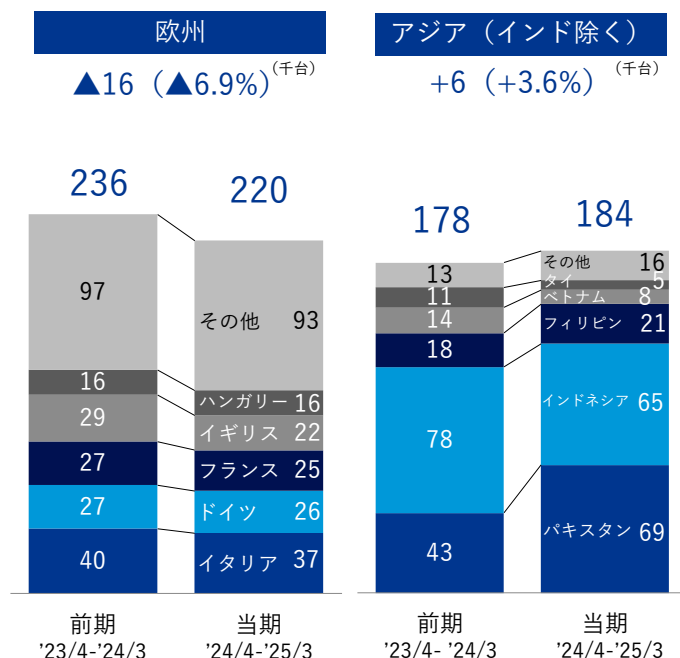
また、カルコダ新工場が予定通り今年2月から稼働を開始し、
人気SUVモデルのプレッツァの生産・販売の増加に寄与する見込みです。



こちらの図は、当期のインドからの供給実績です。

アフリカをはじめ各地域へ輸出を拡大し、
当期の輸出台数は33万3千台と、前期から5万台増加しました。

バッテリーEVのグローバル生産拠点・輸出拠点としていくとともに、
今後、インド400万台生産の体制構築に取り組んでいくなかで、
インド国内需要の増加に柔軟に対応しつつ、グローバル輸出も拡大し、
インド政府が目指すMake in Indiaへ貢献してまいります。



● 当期の販売状況

◆ 欧州

- ・スィフトの販売が堅調に推移
- ・イグニス、ジムニーの販売終了により、全体の販売台数は減少

◆ パキスタン

- ・豊作や金利低下により、アルト、スィフトを中心に個人需要が堅調

● トピックス：e VITARA 発売予定

- ・グジャラート工場で生産し、2025年夏頃からインド、欧州、日本など世界各国で順次販売を開始



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

13 / 20

続いて欧州とアジアの販売状況です。

欧州では、スィフトの販売は堅調に推移しましたが、イグニスやジムニーの販売終了により全体の販売台数は減少しました。

パキスタンでは、前期の外貨不足による部品輸入規制に伴う生産・販売減の状況が改善、豊作や金利低下により、アルトやスィフトを中心に引き続き個人需要が堅調です。

2025年夏ごろからは、スズキ初のバッテリーEVである「e VITARA」を発売する予定です。インド、欧州、日本など世界各国で順次販売を開始いたします。

販売実績

+37 (+13.1%) (千台)

324

286

110

中南米 122

大洋州 28

中近東 64

26

52

アフリカ 109

98

前期
'23/4-'24/3当期
'24/4-'25/3

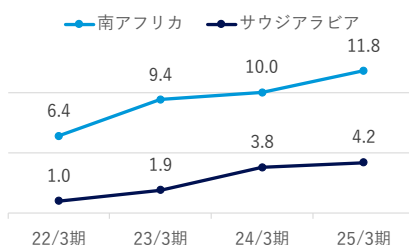
● 当期の販売実績

(千台)

	台数	前期比
アフリカ	109	+12 +12.0%
南アフリカ	63	+11 +20.7%
中近東	64	+12 +23.2%
サウジアラビア	36	+6 +19.4%
大洋州	28	+2 +6.1%
中南米	122	+12 +11.0%
メキシコ	44	+5 +13.2%
チリ	21	+3 +18.9%

- ・中近東、アフリカ、中南米ともに好調を維持
- ・南アフリカはシェア11.8%
スイフト、フロンクス、エルティガ等のインド製モデルを中心に販売を牽引

● トピックス：シェア推移 (%)



● トピックス：南アフリカ

- ・ Cars.co.za Awardsにて
スイフトが小型車部門大賞を受賞



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

14 / 20

その他地域の販売につきましても各地域とも好調を維持しました。中近東、中南米、南アフリカでは、ジムニー5ドアやグランドビターラ等、インド製モデルが販売を牽引しました。商流上、これらのモデルは本社を経由する三国間貿易にて輸出しており、本社収益の改善にも貢献しています。

トピックスとしまして、南アフリカとサウジアラビアのシェアの推移をグラフで表記しております。4年間で南アフリカのシェアは約2倍、サウジアラビアのシェアは約4倍に拡大しました。

(カーズドットコーザアワーズ)

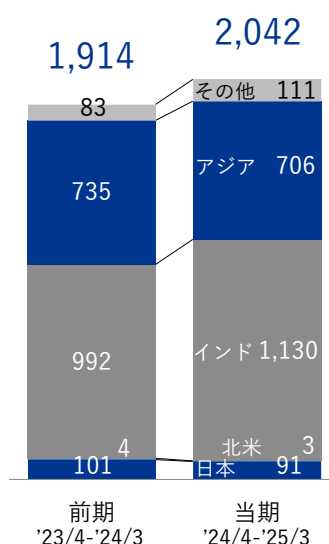
また、南アフリカで開催されたCars.co.za Awardsにてスイフトが小型車部門大賞を受賞いたしました。Car Awardsは南アフリカで唯一、対象車のユーザーの声を反映した賞で、信頼性の高い評価をいただきました。今後も販売・サービス拠点を増加させるとともに、出張修理車による遠隔地での簡易サービスの提供や、ユーザーイベントの開催等により、南アフリカ国内のシェアを大きく伸ばしていきます。

(ご参考)

- ・受賞グレードはSwift 1.2GLX
- ・Cars Awardsは南アフリカで唯一、対象車を所有するユーザーの声を反映した賞で、審査員のスコアとお客様のフィードバックにより決定。

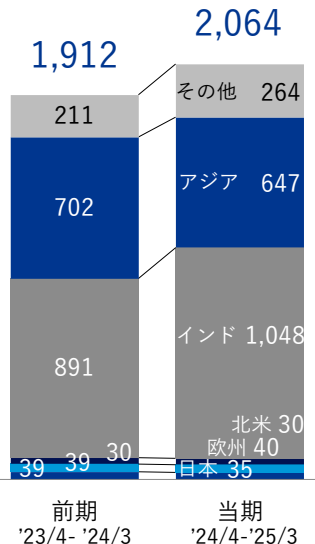
生産実績

+128 (+6.7%) (千台)



販売実績

+152 (+7.9%) (千台)



● インドの販売台数

- ・ 2024年度の販売台数は、全体市場の伸長率を上回る前期比+17.6%となり、初の100万台超えを達成

● トピックス

- ・ 株式会社カプコンが販売する人気ゲーム「ストリートファイター6」とコラボレーションしたバイクを、「CAPCOM CUP 11※」および「ストリートファイターリーグ：ワールドチャンピオンシップ2024」の会場で展示。若年層への認知度アップ。

※スズキが協賛する同ゲームの世界大会



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

15 / 20

次に二輪車の販売状況についてご説明いたします。

インドでは主力モデルのACCESSを中心にスクーター販売が堅調で全体市場の伸長率を上回り、初の100万台超えを達成しました。二輪全体につきましても、生産・販売ともに前年を上回りました。

また、トピックスとしまして、日本では、人気ゲームとコラボしたバイクを、ゲーム大会の会場で展示しました。SNSを中心に大きな反響があり、既存のバイクファン層以外の若年層への認知度アップを図ることができました。

(億円)		次期予想 ('25/4-'26/3)	当期実績 ('24/4-'25/3)	増 減		補足
					増減率	
連結 業績	売上収益	61,000	58,252	+ 2,748	+ 4.7%	5期連続増収
	営業利益 (利益率)	5,000 (8.2%)	6,429 (11.0%)	▲1,429	▲22.2%	4期ぶり減益
	税引前利益 (利益率)	5,800 (9.5%)	7,302 (12.5%)	▲1,502	▲20.6%	6期ぶり減益
	当期利益※1 (利益率)	3,200 (5.2%)	4,161 (7.1%)	▲961	▲23.1%	6期ぶり減益
為替 レート	米ドル	140円	153円	▲13円	▲8.3%	
	ユーロ	160円	164円	▲4円	▲2.4%	
	インドルピー	1.68円	1.82円	▲0.14円	▲7.7%	
世界 販売	四輪車	3,324千台	3,240千台	+ 83千台	+ 2.6%	
	二輪車	2,078千台	2,064千台	+ 14千台	+ 0.7%	
配当	1株当たり 年間配当	45円	41円	+ 4円	+ 9.8%	

※1 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 16 / 20

通期業績予想についてご説明いたします。

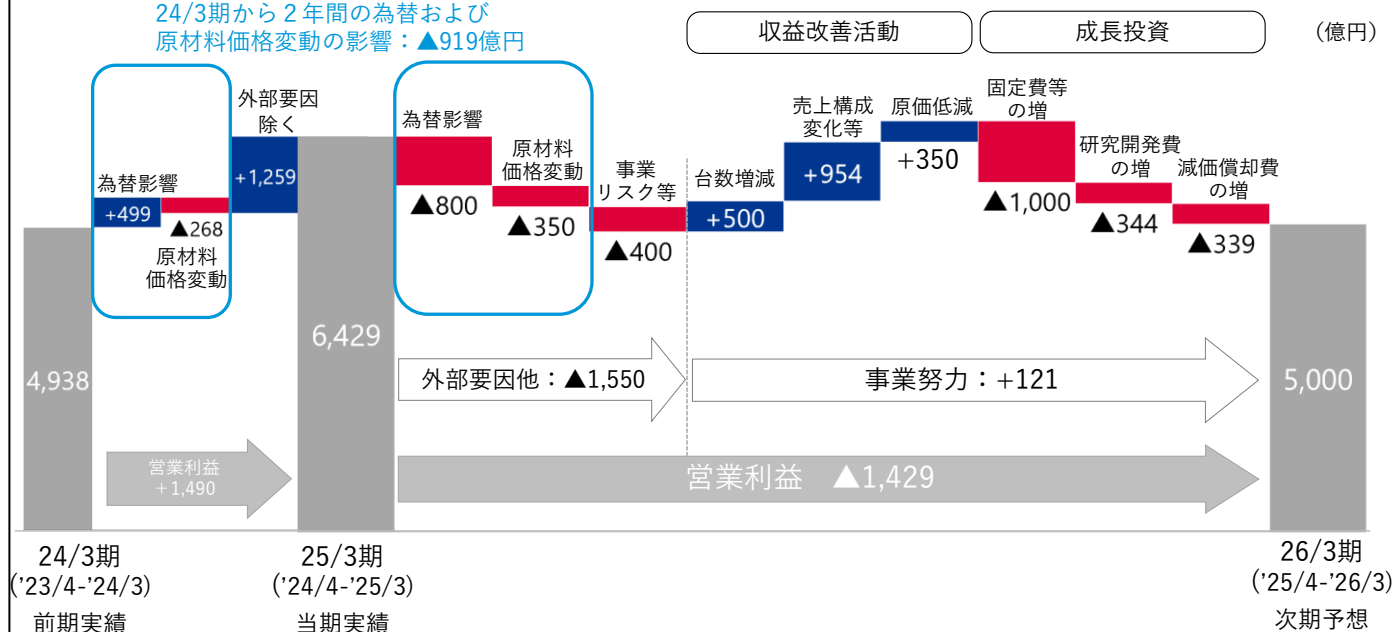
売上収益は6兆1,000億円と増収を見込みますが、
営業利益は5,000億円と減益を見込んでいます。

為替レートは、
米ドル140円、ユーロ160円、インドルピー1.68円を見込んでいます。

昨年度まで追い風だった外部環境も一転、
逆風かつ不透明さも増す状況ではありますが、
中期経営計画の実現に向けて、成長投資を積極的に行ってまいります。

中期経営計画の初年度となる今期は
ご覧の減益予想からのスタートとなりますが、
冒頭で社長も申し上げた通り、
個の成長、全社的な稼ぐ力の向上に取り組み、競争力を上げることで、
中期経営計画の目標を達成する意思に変わりはございません。

24/3期から2年間の為替および
原材料価格変動の影響：▲919億円



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 17 / 20

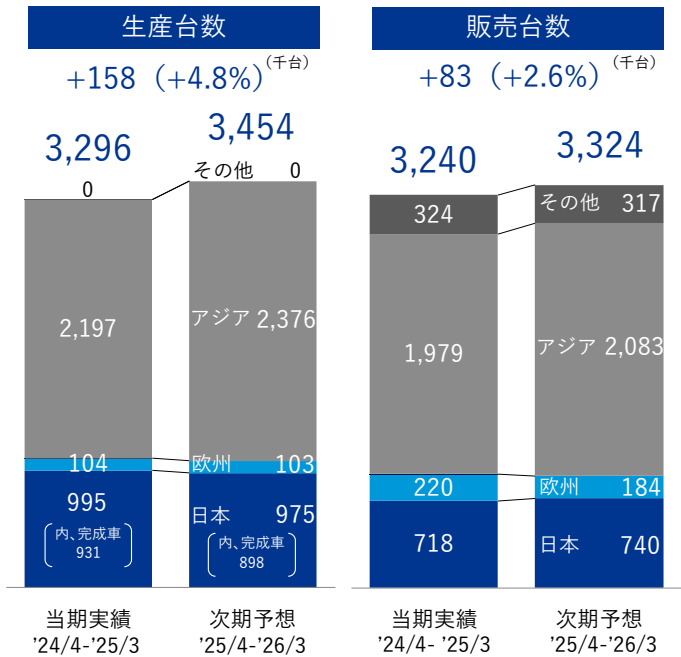
次期予想について、
営業利益の増減要因の内訳はご覧の通りとなります。

当期に対しては、
為替影響をはじめとする外部要因他の減益影響が大きく、
全体では▲1,429億円の減益となる見通しです。

前期24年3月期と比較すると、

- ・ 為替および原材料価格変動の影響により、
2年間で合計▲919億円の減益影響が見込まれます。
- ・ 中期経営計画の実現に向け、成長投資を年々増加するなか、
収益改善活動にしっかり取り組んでいくことで、
24/3期並みの5,000億円の営業利益を見込みます。

今後も稼ぐ力を向上させ、
業績予想を上回れるよう取り組んでまいります。



●生産台数

(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界生産	3,296	3,454	+158	+4.8%
日本	995	975	▲20	▲2.0%
欧州	104	103	▲1	▲1.0%
アジア	2,197	2,376	+179	+8.1%
その他	0	0	+0	+101.9%

●販売台数

(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界販売	3,240	3,324	+83	+2.6%
日本	718	740	+22	+3.1%
欧州	220	184	▲36	▲16.4%
アジア	1,979	2,083	+104	+5.3%
その他	324	317	▲7	▲2.2%

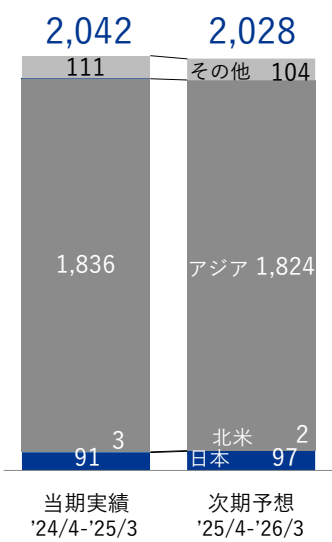
四輪車の生産台数につきましては、
15万8千台増加する見込みです。

販売台数につきましては、
世界全体で8万3千台増加する見込みです。

うち、インドでの販売台数につきましては、
全体市場は前期比+1~2%の伸びと見ており、
当社の販売台数はこれを上回る見通しです。

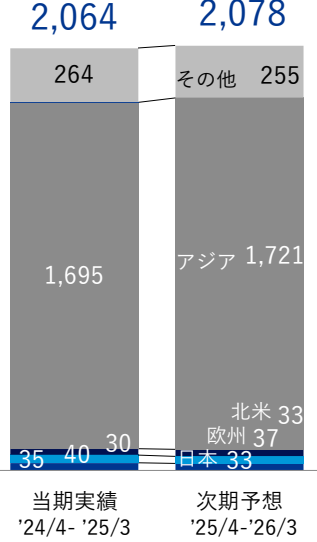
生産台数

▲14 (▲0.7%) (千台)



販売台数

+14 (+0.7%) (千台)



●生産台数

(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界生産	2,042	2,028	▲14	▲0.7%
日本	91	97	+7	+7.4%
北米	3	2	▲2	▲48.0%
アジア	1,836	1,824	▲12	▲0.7%
その他	111	104	▲7	▲6.2%

●販売台数

(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界販売	2,064	2,078	+14	+0.7%
日本	35	33	▲3	▲8.4%
欧州	40	37	▲3	▲7.1%
北米	30	33	+3	+11.1%
アジア	1,695	1,721	+26	+1.5%
その他	264	255	▲9	▲3.5%

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 19 / 20

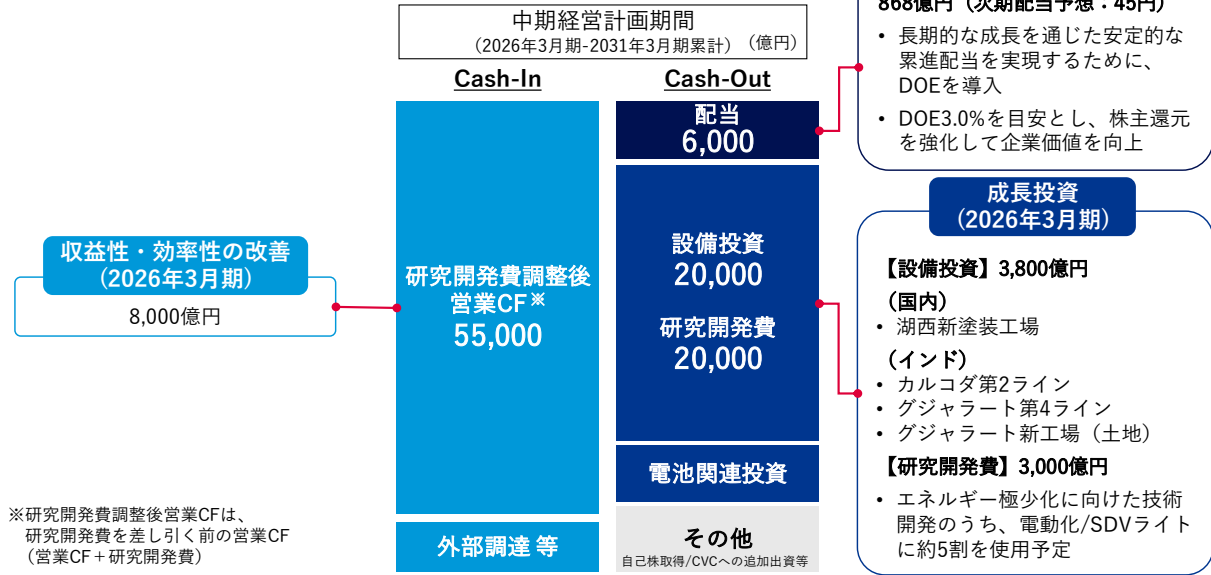
二輪車の生産台数につきましては、1万4千台の減少、販売台数につきましては、1万4千台増加する見込みです。

インドでは引き続き販売増加を見込む一方、中国での減少等により、全体では生産・販売とも前年並みとなる見通しです。

キャピタル・アロケーション（2026年3月期）



収益性・効率性を改善させ投資資金を最大限確保し、積極的に成長投資を実行する
企業価値を最大化できるように、外部状況に応じて柔軟に経営資源を適所適材に振り分ける



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 20 / 20

中期経営計画では6年間のキャピタル・アロケーションをお示ししました。
初年度となる2026年3月期の見通しはご覧の通りです。

- ・ 研究開発費調整後営業キャッシュフローは8,000億円を見込みます。
これに対し、
 - ・ 設備投資として3,800億円
うちインドへの投資が約5割を占め、主に四輪車の能増を計画
 - ・ 研究開発費として3,000億円
うち電動化／SDVライトに関して約5割を使用予定
- これら成長のための再投資をしながら、株主還元として
- ・ 配当 868億円
を予定しています。

以上で、2025年3月期決算の説明を終わります。

なお、資料の次ページ以降に、補足資料として、
売上収益の内訳等のデータを掲載していますので、
併せてご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

補足資料

2025年3月期決算 | 売上収益の状況



(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合 計			増減内訳	
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国内計	14,572	12,785	+1,787	184	198	▲14	32	34	▲1	121	112	+9	14,910	13,128	+1,782		+456
自 社	13,488	11,745	+1,743	184	198	▲14	32	34	▲1	121	112	+9	13,826	12,088	+1,737		
O E M	1,084	1,040	+44										1,084	1,040	+44		
海外計	38,480	35,911	+2,569	3,797	3,453	+345	1,064	1,083	▲19				43,342	40,447	+2,895	+1,490	+324
欧 州	5,798	6,262	▲465	436	467	▲31	186	189	▲3				6,420	6,918	▲498	+308	▲945
北 米	4	5	▲1	398	472	▲74	550	557	▲7				953	1,035	▲82	+48	▲99
アジア	26,190	23,984	+2,205	2,166	1,857	+309	116	137	▲21				28,472	25,979	+2,493	+931	+889
インド	23,015	21,130	+1,885	1,448	1,213	+235	12	9	+3				24,476	22,352	+2,124	+801	+764
々以外	3,174	2,854	+320	718	644	+74	104	129	▲25				3,996	3,627	+369	+130	+116
その他	6,488	5,659	+829	797	656	+140	212	200	+12				7,497	6,515	+982	+203	+479
総合計	53,052	48,696	+4,356	3,981	3,650	+331	1,097	1,117	▲20	121	112	+9	58,252	53,575	+4,676	+1,490	+780
内、為替換算影響			+1,326				+122			+43						+1,490	

注、当期…2024年4～2025年3月期、前期…2023年4～2024年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

2025年3月期決算 | 所在地別業績、営業利益増減要因



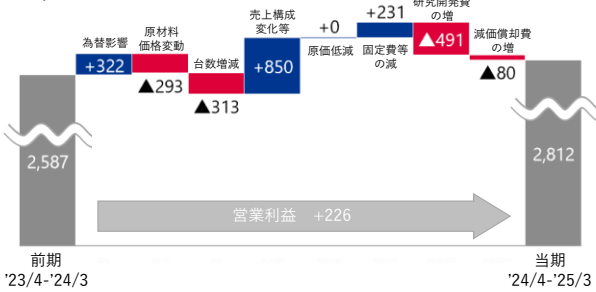
所在地セグメント別業績

(億円)

	'24/4-'25/3			'25/1-3		
	売上収益	営業利益	営業利益	売上収益	営業利益	営業利益
	前年比	前年比	利益率	前年比	前年比	利益率
日本	29,044 +3%	2,812 +9%	9.7%	7,413 ▲6%	574 +20%	7.7%
欧州	7,993 ▲13%	140 ▲42%	1.7%	2,035 ▲17%	57 ▲16%	2.8%
アジア	32,711 +11%	3,041 +17%	9.3%	8,699 +6%	778 +12%	8.9%
その他	4,572 +13%	132 +19%	2.9%	1,190 +7%	47 +200%	3.9%
セグメント間 消去	▲16,069	304	—	▲3,922	176	—
連結計	58,252 +9%	6,429 +30%	11.0%	15,414 +1%	1,631 +33%	10.6%

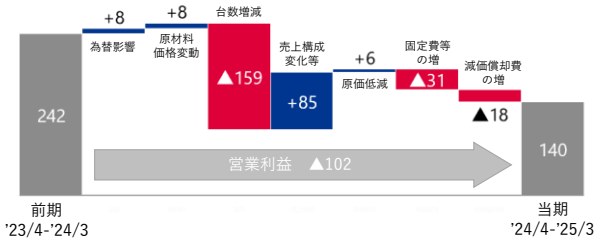
日本

(億円)



欧州

(億円)



アジア

(億円)

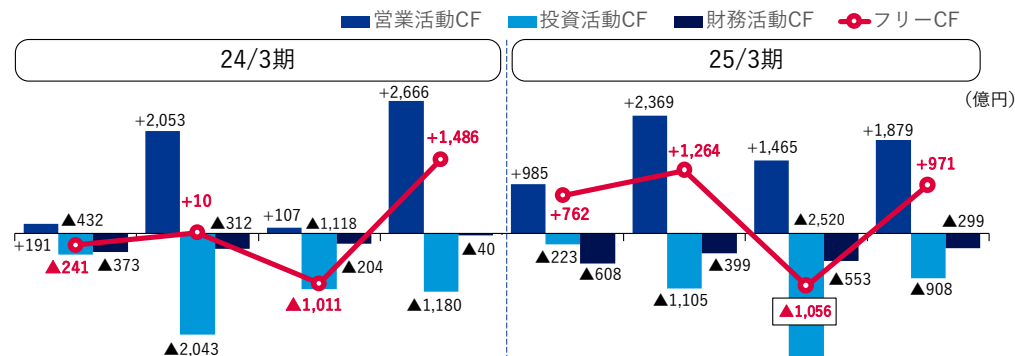


(億円)	当 期 ('24/4-'25/3)	前 期 ('23/4-'24/3)	増 減		補 足
				増減率	
売 上 高	26,279	26,048	+ 231	+ 0.9%	3期連続増収、過去最高
国 内	11,972	10,788	+ 1,184	+ 11.0%	
輸 出	14,307	15,261	▲954	▲6.2%	
一 般	7,853	8,673	▲820	▲9.5%	
三国間	6,454	6,587	▲133	▲2.0%	
営業利益 (利益率)	1,881 (7.2%)	2,040 (7.8%)	▲159	▲7.8%	4期ぶり減益
経常利益 (利益率)	2,390 (9.1%)	2,572 (9.9%)	▲183	▲7.1%	4期ぶり減益
当期純利益 (利益率)	2,311 (8.8%)	2,031 (7.8%)	+ 280	+ 13.8%	6期連続増益、過去最高

		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当期	前期※4	増減	当期	前期	増減
連結業績	売上収益	14,511	13,492	+ 1,019	26,410	23,746	+ 2,664
	営業利益※2 （利益率）	1,455 (10.0%)	1,327 (9.8%)	+ 128	2,648 (10.0%)	2,336 (9.8%)	+ 312
	税引前利益 （利益率）	1,962 (13.5%)	1,742 (12.9%)	+ 220	3,571 (13.5%)	3,067 (12.9%)	+ 504
	税引後利益 （利益率）	1,450 (10.0%)	1,349 (10.0%)	+ 101	2,639 (10.0%)	2,374 (10.0%)	+ 265
	為替レート	1.82円	1.76円	+ 0.06円			
卸販売	国内販売※3	1,902千台	1,852千台	+ 49千台			
	輸出※3	333千台	283千台	+ 50千台			
	合計	2,234千台	2,135千台	+ 99千台			

注. マルチ・スズキ・インディア社は I n d A S（インド版 I F R S）に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

※1 ルピー建は、4月25日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値
※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs
※3 国内販売および輸出は O E Mを含む
※4 前期の業績値は、当期との比較のため、前々期初より SMG を連結した前提で再計算した数値



	24/3期				25/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
フリーCF	▲241	+10	▲1,011	+1,486	+762	+1,264	▲1,056	+971
財務CF	▲373	▲312	▲204	▲40	▲608	▲399	▲553	▲299
(内、配当金支払額※1)	(▲245)	(▲203)	(▲268)	(▲2)	(▲324)	(▲301)	(▲385)	(+2)
為替影響	+298	+20	▲132	+210	+198	▲313	+190	▲130
キャッシュ増減	▲317	▲281	▲1,347	+1,656	+352	+552	▲1,419	+542
キャッシュ残高	8,373	8,091	6,744	8,400	8,752	9,304	7,885	8,427
ネットキャッシュ	736	423	▲1,045	541	1,027	1,732	352	1,174
(月商比※2)	(0.1ヵ月)	(0.1ヵ月)	(▲0.2ヵ月)	(0.1ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.3ヵ月)	(0.1ヵ月)	(0.2ヵ月)

※1 非支配株主への配当金の支払額を含む ※2 月商比は、各期の通期売上収益の平均月商をもとに算出 © Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 26

	当期 ('24/4-'25/3)	前期 ('23/4-'24/3)	増 減
設備投資	3,618億円	3,139億円	+ 479億円
当社単独	913億円	641億円	+ 272億円
子会社	2,705億円	2,498億円	+ 207億円
(内、インド)	(1,975億円)	(1,886億円)	(+88億円)
減価償却費	1,961億円	1,777億円	+ 184億円
研究開発費	2,656億円	2,320億円	+ 336億円

※ インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル、NBV 6社の合計
※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績値に含まない
※ 研究開発費は、報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

	当期末 ('25/3末)	前期末 ('24/3末)	増 減
有利子負債残高	7,253億円	7,859億円	▲606億円
連結子会社数	122社	120社	+2社
持分法適用関連会社数	35社	33社	+2社
従業員数	74,077人	72,372人	+1,705人

※ リース負債は上記の実績に含まない

	当期 ('24/4-'25/3)	前期 ('23/4-'24/3)	前年同期比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度 ^{※2}	影響額
インドルピー	1.82円	1.76円	+0.06円	+3.4%	+45億円	+154億円
ユーロ	164円	157円	+7円	+4.5%	+25億円	+112億円
米ドル	153円	145円	+8円	+5.5%	+15億円	+83億円
南アフリカランド	8.37円	7.72円	+0.65円	+8.4%	+8億円	+63億円
パキスタンルピー	0.55円	0.51円	+0.04円	+7.8%	+5億円	+37億円
オーストラリアドル	100円	95円	+5円	+4.8%	+5億円	+23億円
ポンド	195円	182円	+13円	+7.2%	+4億円	+27億円
メキシコペソ	8.02円	8.35円	▲0.33円	▲4.0%	+8億円	▲31億円
その他 ^{※1}	—	—	—	—	+10億円	+31億円
営業利益為替影響額 合計					+123億円	+499億円

※1 その他…影響額+31億円のうち、ポーランドズロチ+22億円、インドネシアルピア+3億円、ニュージーランドドル+3億円 ほか
 ※2 感応度…各通貨のレートが前年同期のレートから1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

	通期予想	当期実績	前期実績比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度※1	影響額
インドルピー	1.68円	1.82円	▲0.14円	▲7.7%	+61億円	▲468億円
米ドル	140円	153円	▲13円	▲8.3%	+17億円	▲140億円
メキシコペソ	7.10円	8.02円	▲0.92円	▲11.5%	+9億円	▲98億円
南アフリカランド	7.53円	8.37円	▲0.84円	▲10.0%	+8億円	▲81億円
ユーロ	160円	164円	▲4円	▲2.4%	+29億円	▲70億円
オーストラリアドル	89円	100円	▲11円	▲10.6%	+3億円	▲33億円
パキスタンルピー	0.52円	0.55円	▲0.03円	▲5.5%	+6億円	▲32億円
ポンド	188円	195円	▲7円	▲3.5%	+7億円	▲24億円
ポーランドズロチ	38円	38円	▲1円	▲1.7%	+3億円	▲4億円
営業利益為替影響額 合計					+147億円	▲800億円

※1 感応度…各通貨のレートが前期実績から1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

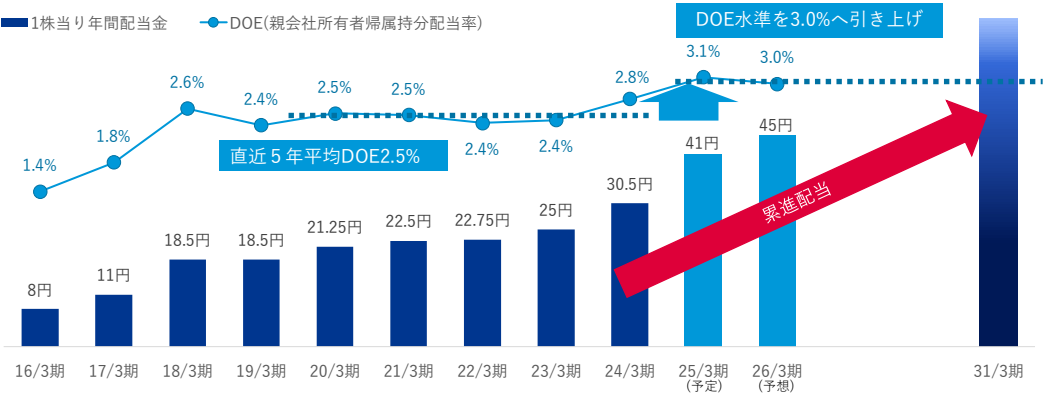
株主還元方針



長期保有の株主の皆様、特に、2030年度に向けた挑戦を応援していただけるスズキファンの皆様にお応えしたく、株主還元は配当を中心に実施するとともに、配当による還元を強化

- 配当方針：累進配当…利益連動ではなく安定的・継続的に実施
- 配当指標：新たにDOEを採用…DOE水準を3.0%へ引き上げ

自己株取得の実施については、資本効率(ROE)や株価水準(PBR)など総合的に検討し判断



(ご参考) $DOE = 1株当たり配当金 \div ((期首1株当たり親会社所有者帰属持分 + 期末1株当たり親会社所有者帰属持分) \div 2)$

なお、親会社所有者帰属持分から、その他の資本の構成要素は除く

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

(億円)	次期予想	当期実績	増減
設備投資	3,800	3,618	+ 182
減価償却費	2,300	1,961	+ 339
研究開発費	3,000	2,656	+ 344

※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない
※ 研究開発費は、報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

項目	日本基準	IFRS	内容
有形固定資産の償却方法	定率償却	定額償却	移行日時点で保有する資産について、取得時まで遡って変更を遡及適用
研究開発費、ソフトウェア取得費の資産化	発生時に費用計上	資産計上後に償却	機種開発分やソフトウェア取得費が対象
一部の金融商品の評価差額	売却時に一括で損益計上	四半期ごとに損益計上	マルチスズキ保有の投資信託の評価差額



2025年3月期 決算説明会



2025年5月12日
スズキ株式会社



将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。